

一人一人が生き生きと活動する
明るく楽しい学校



かいどい

学校だより令和5年度



令和5年9月1日

<http://schit.net/tama/eskaidori>

多摩市立貝取小学校
校長 鈴木 純一郎

2学期の学校生活が始まりました

楽しく過ごした夏休みが終わり、第2学期が始まりました。保護者の皆さま、地域の皆さま、今学期も貝取小学校の教育活動へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

休み中は猛暑が続き、台風による大きな被害を受けた地域がありました。暑さのために体調を崩された方、豪雨災害で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

本日、久しぶりに登校した子供たちの元気な姿を見て、教職員一同とても安心しました。子供たちの笑顔からは、夏休み中の楽しかった思い出を早く話したいという思いが伝わってきました。学校生活の再スタートとともに生活リズムを整え、落ち着いた雰囲気の中で集中して学習し、どの子も安心して過ごせるように日々の教育活動を充実してまいります。

4月に自宅でアサガオの種をまきました。毎朝、水やりを続けると4月末にはふた葉が出始めて、5月には本葉が増えました。6月初めに一つ目の花が開き、その後はつるがどんどん伸びて6月終わりから7月中は毎日たくさんの花が咲き、眺めて過ごすのがとても楽しみでした。1年生の子供たちが、登校してすぐに自分の鉢に水をまき、開花を楽しみに待つ気持ちがとてもよくわかりました。

8月に入り他県への出張で数日間、留守が続きました。アサガオの水やりができないことがとても気になっていました。夕立に期待しましたがやはり水が足りず、帰宅したときには葉がしおれていました。「今年のアサガオはこれで終わりかな…」と思いながらも、たっぷりの水をまきました。翌朝見ると、しおれていた葉が復活し元気を取り戻していました。うれしくなって水やりを続けると、数日後には再びつぼみが増えて花が咲くようになり、今でもがんばって複数の花が毎朝開きます。アサガオの生命力に驚かされるとともに、あきらめずに継続して取り組むことの大切さを実感した夏休みでした。

1か月以上の長い休みを経て、子供たちは心身ともに大きく成長しました。貴重な体験を通して子供たち一人一人が蓄えたエネルギーを存分に発揮し、クラスや異学年との集団生活でも協力し合ってよりよい学校生活が送れるように、本校の教職員は連携して指導に当たり、サポートしてまいります。

2学期の学校生活では、1学期に習得した基礎、基本の学習内容を基に、さらに発展的な内容の学習活動を展開していきます。個人やグループで学習したことをまとめて発表し合ったり、教室で学んだことを実際に確かめるために校外学習に出かけたりするなど、学びのスタイルも発展していきます。

さらに9、10月には、スイミングスクールでの水泳指導を実施します。まだ暑い日が続くため、熱中症予防に留意するとともに、感染症の予防にも十分に気を付けて健康管理を行い、2学期の学校生活でも子供たちが充実した体験を積み重ねられるように努めてまいります。引き続き、保護者の皆さま、地域の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。